

放射線の人体への影響

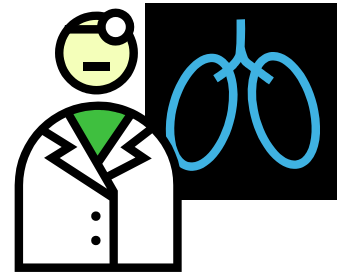
— 多数の被ばく者を診てきた医師の話聞いてみませんか —

今、福島第一原発の事故のために、周辺に住む多くの人々が自宅に帰ることができません。また、原発から50キロ以上離れているにもかかわらず、子どもや家族の健康を心配しながら暮らしている人々が大勢います。その理由は、原発から放出された目に見えない大量の放射能があるからです。では、放射線はどのように人体に影響するのでしょうか。医療で使われる放射線と原発から出てきた放射性物質とはどんな違いがあるのでしょうか。この点を分かりやすくお話しします。（講師より）

日時 10月30日(日)

13時30分～15時30分

(開場13時00分)



会場 浜松科学館1階大ホール

JR 浜松駅南口から東へ徒歩7分

浜松市中区北寺島町 256 番地の 3 電話 053-454-0178(代)

講師 医師 間間元(ききま・はじめ)

1944年熱海市生まれ 1972年信州大学医学部卒業

1978年から原爆被爆者の健診と医療にかかわる。その後も、放射線が人体へ及ぼす影響の調査、研究、臨床に30年以上関わる。

現在、浜北医療生協・きたはま診療所所長 静岡県保険医協会理事長。

主催 浜岡原発運転終了等請求訴訟弁護団

浜岡原発運転終了等請求訴訟弁護団とは 今年7月1日静岡地裁へ「浜岡原発の運転終了、使用済み核燃料棒の安全な冷却保管、解体によらない原子炉の廃止措置を求める訴訟」を起こした静岡県弁護士会所属弁護士有志113名及び他県弁護士10名の合計123名からなる弁護団です。

ホームページはこちら <http://www.hamaokaplant-sbengodan.net/> 携帯からはこちら→

講演会の様子は後日ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

問合せ先 〒430-0945 浜松市中区池町 221-5 大石康智法律事務所内浜岡原発訴訟事務局

